

2024年7月26日



2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

東京製鐵株式会社
(東証プライム：5423)

1 2025年3月期 第1四半期 決算報告

2 2025年3月期 業績予想

3 参考情報

4 株主還元について

● 2025年3月期 第1四半期

・売上高：939億円、営業利益：96億円（前年比で減収減益）

・製品出荷数量：81.9万トン（うち輸出13.2万トン）

・製品出荷価格は期初計画を上回り、期間業績も計画を上回る進捗

・4/26取締役会で、自己株式の取得および自己株式の消却を決定、実施

・当社独自のグリーン鋼材ブランドを発表

・7/26取締役会で、100億円を上限とする自己株式の取得を決定

● 2025年3月期 通期予想

・売上高：3,640億円、営業利益：320億円（前年比で減収減益）

・当第1四半期の業績上振れ分が上期・通期予想に加わり、期初の利益予想を上回る見通し

1

2025年3月期 第1四半期 決算報告

2025年3月期 第1四半期 実績総括

p4



- ・国内外ともに製品販売価格の値上げに注力し、製品出荷価格が当初計画を上回った。
- ・田原工場の操業トラブルにより製品出荷数量は想定を下回ったものの、期間業績は計画を上回る進捗となった。

(億円)	2024年3月期実績			2025年3月期		
	1Q	上期	通期	1Q実績	見直上期 (期初予想)	見直通期 (期初予想)
売上高	1,027	1,891	3,672	939	1,760 (1,820)	3,640 (3,700)
営業利益	122	165	375	96	170 (150)	320 (300)
経常利益	129	172	385	102	175 (155)	330 (310)
当期純利益	88	123	265	65	115 (105)	220 (210)

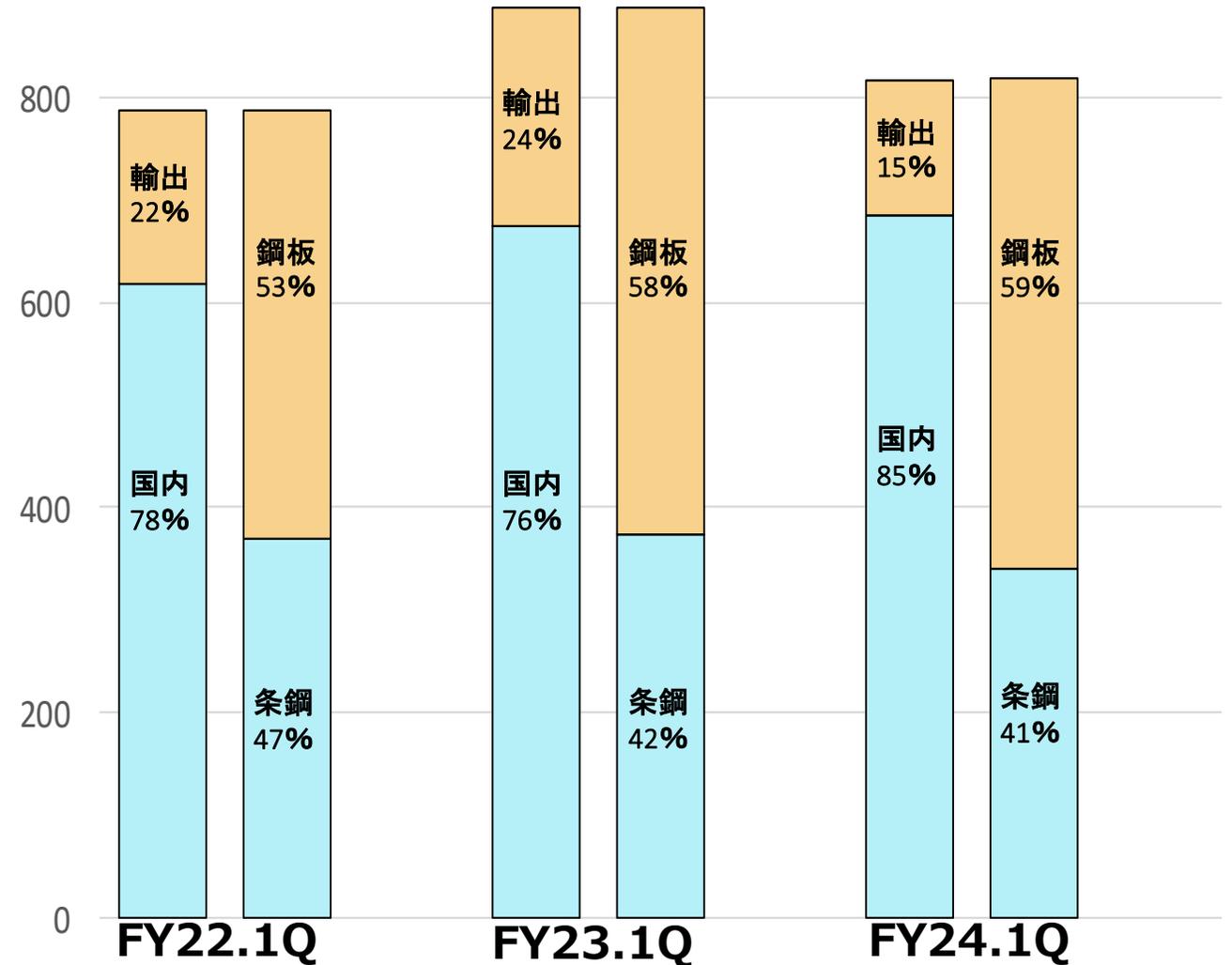
実績比で赤字は増
青字は減

製品出荷数量の推移

製品	FY22.1Q	FY23.1Q	FY24.1Q
国内 (千トン)	617	675	686
販売単価 (千円)	113.5	116.9	112.1
輸出 (千トン)	171	214	132
販売単価 (千円)	112.5	102.3	101.5
合計 (千トン)	789	889	819
販売単価 (千円)	113.3	113.4	110.4
粗鋼生産量 (千トン)	902	961	833
鋼材生産高 (千トン)	808	930	762

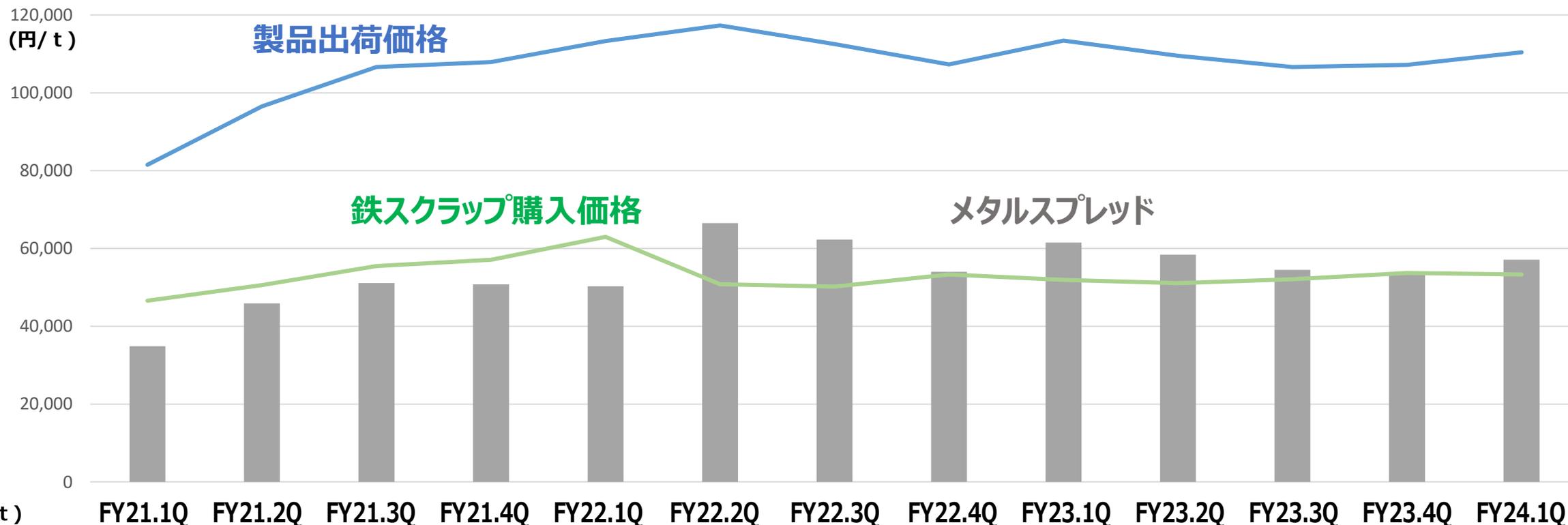
1000
(千トン)

製品の輸出比率および品種構成



製品出荷価格・鉄スクラップ購入価格・メタルスプレッドの推移

当第1四半期では、前期4Qより製品出荷価格が上昇した一方、鉄スクラップ購入価格はほぼ横ばい(▲400円/t)となり、メタルスプレッドは約3,600円/tの改善となった。



(円/t)	FY21.1Q	FY21.2Q	FY21.3Q	FY21.4Q	FY22.1Q	FY22.2Q	FY22.3Q	FY22.4Q	FY23.1Q	FY23.2Q	FY23.3Q	FY23.4Q	FY24.1Q
製品出荷価格	81,500	96,500	106,600	107,900	113,300	117,300	112,500	107,300	113,400	109,500	106,600	107,200	110,400
鉄スクラップ購入価格	46,600	50,600	55,500	57,100	63,000	50,800	50,200	53,300	51,900	51,100	52,100	53,700	53,300
メタルスプレッド	34,900	45,900	51,100	50,800	50,300	66,500	62,300	54,000	61,500	58,400	54,500	53,500	57,100

※鉄スクラップ購入単価とは、該当の四半期において使用した鉄スクラップの平均購入単価を指します。

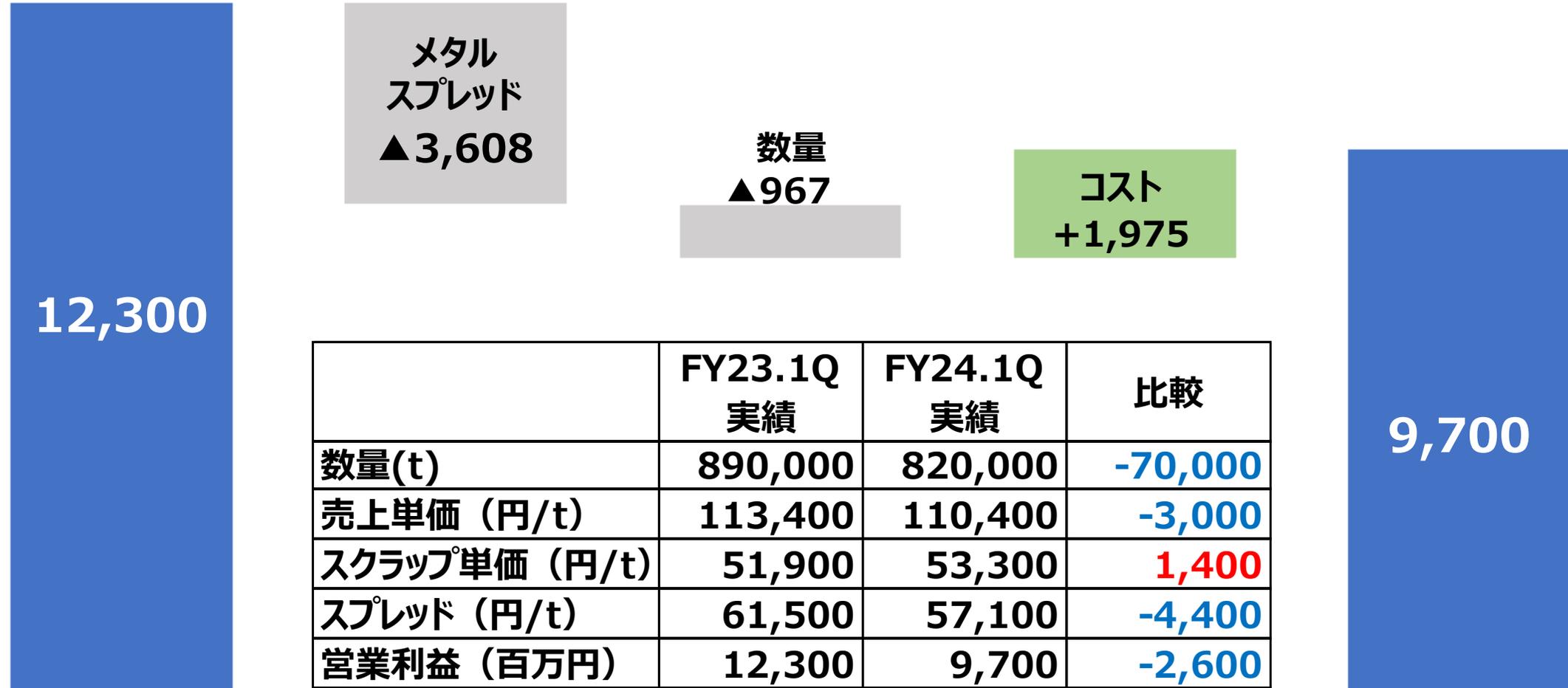
営業利益増減要因

p7



2024年3月期1Q（実績）→2025年3月期1Q（実績）

（百万円） ※営業利益は数値を丸めています。



FY23.1Q
実績

FY24.1Q
実績

営業利益増減要因

p8



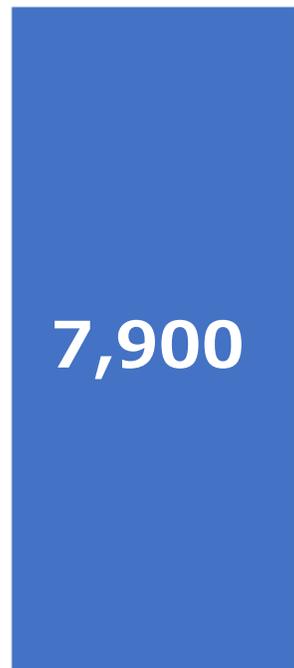
2024年3月期4Q（実績）→2025年3月期1Q（実績）

（百万円） ※営業利益は数値を丸めています。

メタル
スプレッド
+2,952

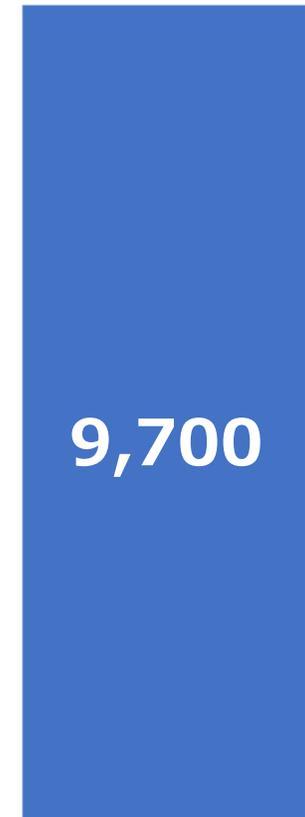
数量
±0

コスト
▲1,152



FY23.4Q
実績

	FY23.4Q 実績	FY24.1Q 実績	比較
数量(t)	820,000	820,000	0
売上単価（円/t）	107,200	110,400	3,200
スクラップ単価（円/t）	53,700	53,300	-400
スプレッド（円/t）	53,500	57,100	3,600
営業利益（百万円）	7,900	9,700	1,800



FY24.1Q
実績

営業利益増減要因

p9

2025年3月期1Q（予想）→2025年3月期1Q（実績）
（百万円） ※営業利益は数値を丸めています。

メタル
スプレッド
+2,952

数量
▲264

コスト
▲488

7,500

FY24.1Q
予想

	FY24.1Q 予想	FY24.1Q 実績	比較
数量(t)	850,000	820,000	-30,000
売上単価（円/t）	107,200	110,400	3,200
スクラップ単価（円/t）	53,700	53,300	-400
スプレッド（円/t）	53,500	57,100	3,600
営業利益（百万円）	7,500	9,700	2,200

9,700

FY24.1Q
実績

2

2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想

p11



- ・当第1四半期の業績上振れ分が上期・通期予想に加わり、期初の利益予想を上回る見通し。
- ・今後の見通しは、厳しい海外市況が継続するとともに、国内では人手不足による建築案件の工期ずれや、製造業の生産回復の遅れによる鋼材需要の伸び悩みが懸念される。

(億円)	2024年3月期 実績		2025年3月期予想 (4/26公表)		2025年3月期予想 (7/26見直)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	1,891	3,672	1,820	3,700	1,760	3,640
営業利益	165	375	150	300	170	320
経常利益	172	385	155	310	175	330
当期純利益	123	265	105	210	115	220

期初計画比で赤字は増
青字は減

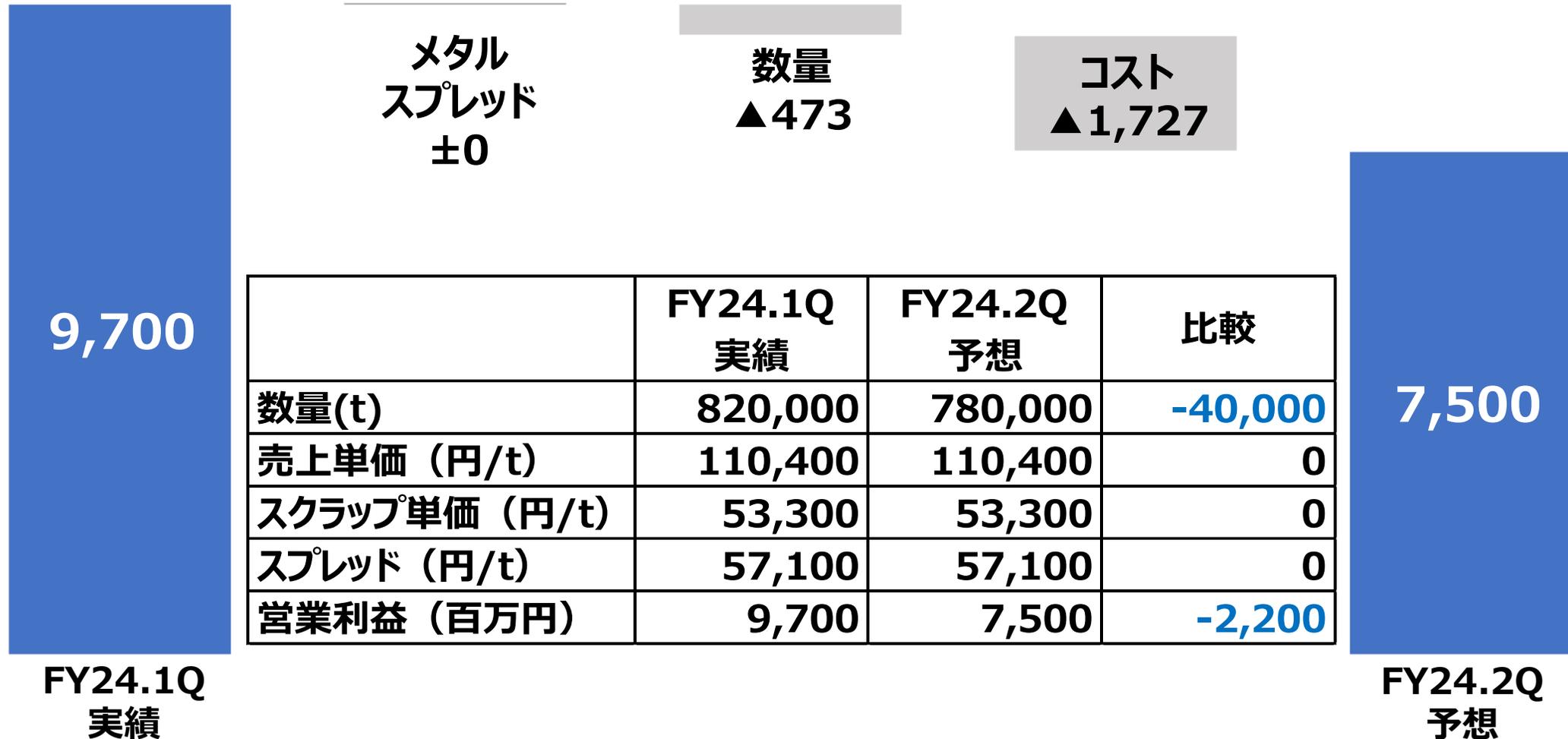
営業利益増減要因

p12



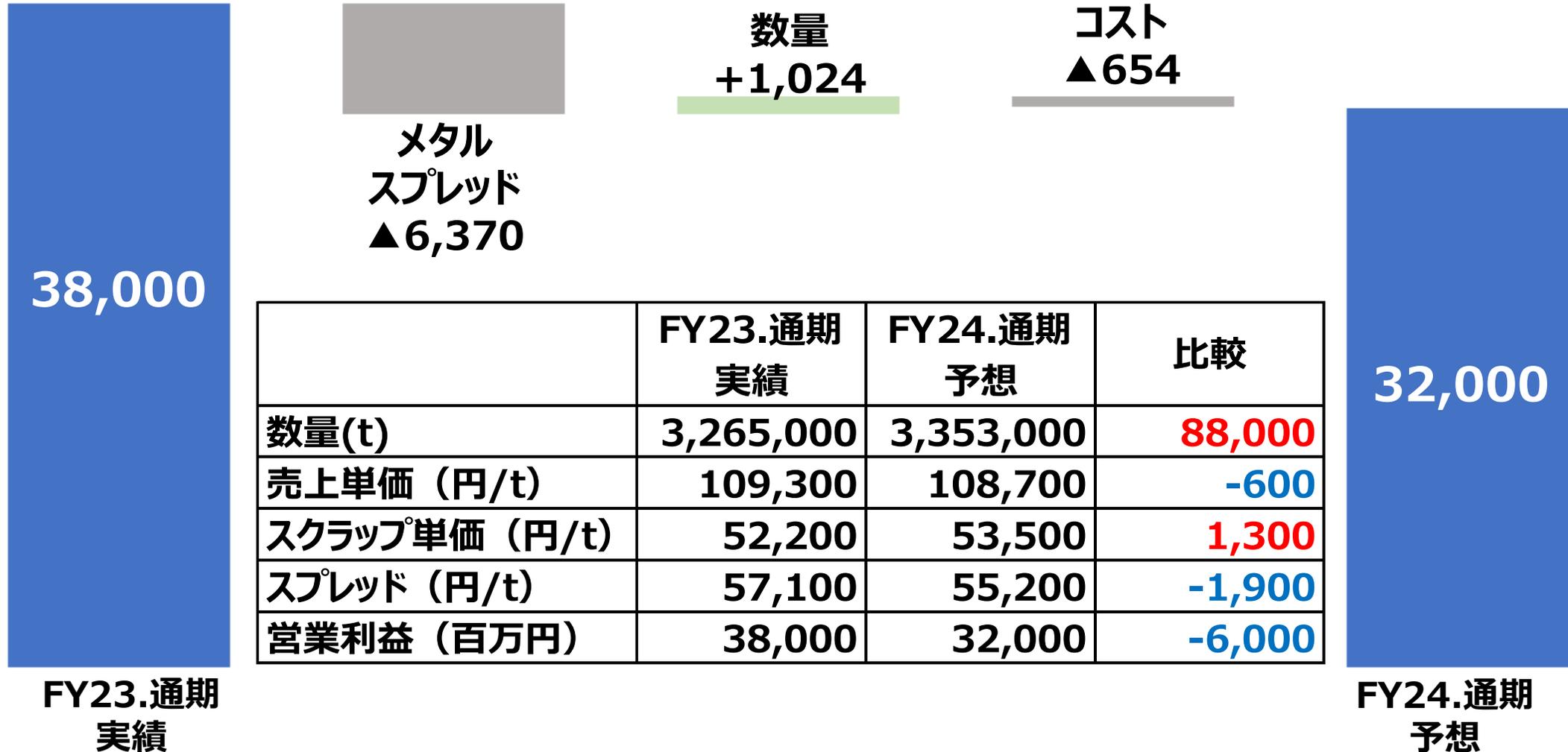
2025年3月期1Q（実績）→2025年3月期2Q（予想）

（百万円） ※営業利益は数値を丸めています。



営業利益増減要因

2024年3月期通期（実績） → 2025年3月期通期（予想）
 （百万円） ※営業利益は数値を丸めています。



3

参考情報

グリーン鋼材「ほぼゼロ」の販売開始

p15



2024年7月1日より、
グリーン鋼材ブランド「ほぼゼロ」の販売を開始。

今すぐに、「脱炭素」。
限りなく、「CO2ゼロ」。
だから、「ほぼゼロ」。



東京製鐵のグリーン鋼材「ほぼゼロ」の概要

p16



非化石証書を活用し、製造時に使用する電力起因のCO₂を削減
電炉鋼材の製造段階におけるCO₂排出原単位を大幅に低減



- 対象品種：当社国内4工場で製造する全品種
- 受注開始時期：2024年7月から
- 品質・納期：通常製品と同じ
- 「ほぼゼロ」価格：鋼材トン当たり+6,000円

千代田鋼鉄工業株式会社との協働

p17

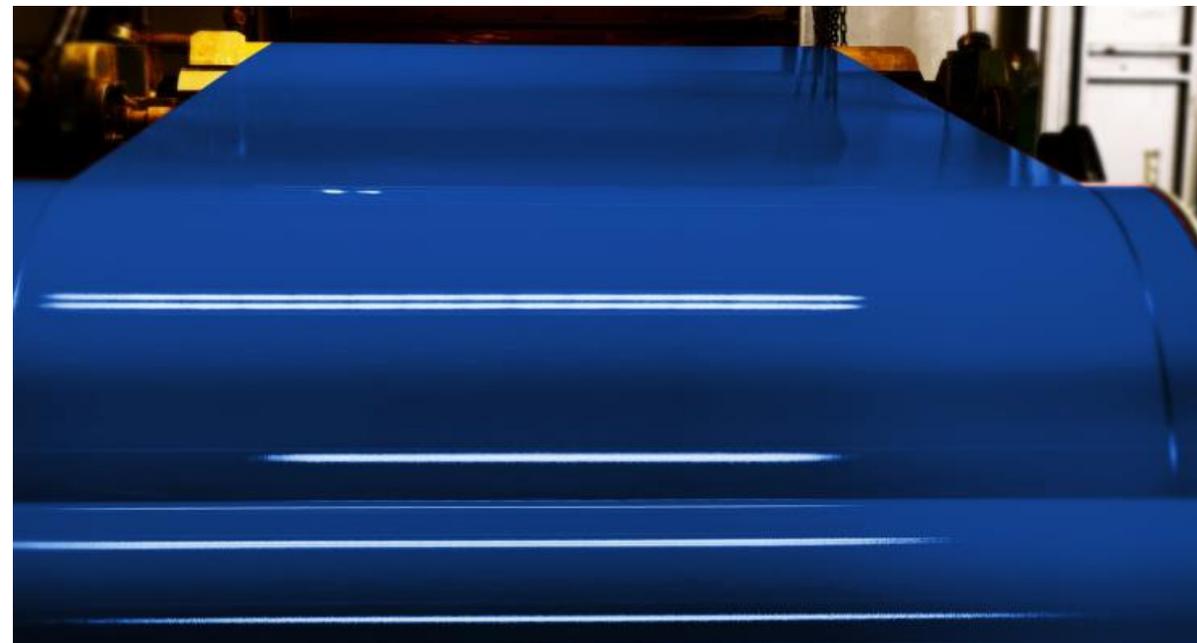


● 2024年4月30日リリース

電炉メーカー・千代田鋼鉄工業株式会社と協働し、「CO₂低減カラー鋼板」を開発。
当社岡山工場の溶融亜鉛めっきコイル(GI)を、千代田鋼鉄工業がカラー鋼板として
塗装加工するスキームを構築しました。



千代田鋼鉄工業株式会社



関西サテライトヤードの正式オープン

p18



2022年6月、名古屋サテライトヤードを開設(愛知県名古屋市)

2024年6月3日、関西サテライトヤード(兵庫県尼崎市)正式オープン



※ 名古屋サテライトヤード

©2024 TOKYO STEEL MANUFACTURING Co.,Ltd. All Rights Reserved

4

株主還元について

株主還元について

p21



- ・4/26取締役会で、自己株式10億円の取得および自己株式の消却を決定し、実施した。
 - ・7/26取締役会で、100億円を上限とする自己株式の取得を決定。
- 想定される配当、実施済みの自己株式の取得と併せて総還元性向は約70%となる見込み。

	FY17実績	FY18実績	FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24予想
中間配当	5.0円	6.0円	7.0円	8.0円	10.0円	20.0円	25.0円	25.0円
期末配当	5.0円	7.0円	8.0円	8.0円	15.0円	20.0円	25.0円	25.0円
年間配当	10.0円	13.0円	15.0円	16.0円	25.0円	40.0円	50.0円	50.0円
自己株式買取総額	1,985百万円	3,877百万円	11,778百万円	2,000百万円	5,710百万円	3,499百万円	3,756百万円	10,000百万円
配当性向	12%	11%	14%	33%	9%	14%	20%	24%
総還元性向	30%	36%	99%	66%	27%	26%	33%	70%

● 自己株式の消却

- ① 消却した株式の種類：当社普通株式
 - ② 消却した株式の数： 45,000,000株
 - ③ 消却日： 2024年5月10日
- ※消却後の発行済株式総数： 110,064,249株

● 自己株式の取得

- ① 取得する株式の種類：当社普通株式
- ② 取得する株式の数： 6,800,000株(上限)
- ③ 株式取得価額の総額： 100億円(上限)
- ④ 取得する期間： 2024年7月29日から
2025年6月30日まで
- ⑤ 取得方法： 市場買付

当社の属する普通鋼電炉業界の大きな特色は、装置産業かつ市況産業であることでもあります。業界のなかで最新の生産技術を保持し、高い生産性と競争力を維持しつつ成長を続けるためには、適切なタイミングにおいて、設備の更新を慎重かつ大胆に実行していく必要があります。市況産業故に業績が景気変動に大きく左右されやすいなかで、投資を自己の判断によりの的確に行っていく上で内部留保は極めて重要であり、株主の利益を長期的に確保することに繋がるものと考えております。

上記の考え方に基づき、当社は将来に資する設備投資を推進し、生産性と競争力を一層向上させることで、高い利益水準を達成しつつ、これをもって、配当や自己株式取得による株主還元を実施してまいりました。今般、この方針をより明確にすることとし、当社の今後の利益配分につきましては、原則として、総還元性向を25%～30%とすることを目指してまいります。

今後も株主還元方針に基づき、
安定的な配当の実施、機動的な自己株式の取得を実施してまいります。



CARBON MINUS × UPCYCLING
EcoVision2050

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含みます。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えください。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。